

◎昭和46年度第12回理事会議事録

(47.5.12) 出席者：高野会長、石川、奥村、篠原の各副会長、下村専務理事、荒木、井上、岩垣、尾崎、後藤(尚)、長谷川、半谷、細井、三浦、村田、石上(委任状)、岡田(委任状)、後藤(明)(委任状)、鈴木(委任状)、林(委任状)の各理事、柳瀬監事。議事録署名理事の決定：高野会長、石川副会長、下村専務理事。
 A. 報告事項：1) 逝去報告：下村専務理事から、第30代会長草間 偉君が本日(5月12日)逝去された旨の報告があり、一同謹んで冥福を祈った。2) 刊行物頒布報告；説明を省略して了承。3) 各種委員会その他報告；下村専務理事から、全国大会実施要項については、第11回理事会において審議された結果、会務担当理事会でさらに検討したうえで改めて審議することに決定されていたが、去る5月8日(月)に会務担当理事会を開催した旨の報告があり、その概要については議題5)と重複するため、改めて審議することとして了承。B. 協議事項：1) 昭和46年度事業報告について；事務局員から概略説明があり、評議員会の議決を得た後に第58回通常総会に議案として提出することを了承。なお、会長から、総会においては会員関係について若干の注釈を加えるよう指示があった。2) 昭和46年度決算報告について；事務局員から説明があった後、柳瀬監事から本日会計監査を行なった結果、適正妥当と認める旨の報告があり、評議員会の議決を得たあとに第58回通常総会に議案として提出することを了承。3) 基金繰入れについて；吉田賞および田中賞の基金を除く各基壺の利子の一部を基金に繰入れることについて、評議員会に議案として提出することを了承。4) 昭和46年度土木学会賞および吉田研究奨励金被授与候補の選考結果について；事務局員が資料を朗読した後、受賞者等を原案どおり決定。5) 土木学会全国大会実施要項について；事務局員が資料を朗読した後、下村専務理事から説明があり、種々論議された結果、原案どおり改正案を決定する場合には昭和41年11月25日理事会決定の旧実施要項に総会関係のみが残ることとなるので、改正案に総会関係を付加することとして決定。なお、総会関係に伴う文案については、事務局一任と

決定。6) 文部省の科学研究費補助金に係る土木工学分科の細目については；事務局員の資料朗読の後、奥村副会長から、本件は本日欠席の河上副会長の提案に係るもので、趣旨はほう大な資料を審査する審査員の労苦の軽減と公正妥当な審査を為すために、現行の細目数5を6にし(したがって第1段審査員は増員となる)、第2段審査員1名を2名に増員することを昭和48年度から実施するよう日本学術会議に要望書を提出したいというものである旨の説明があり、異議なく原案どおり決定。7) その他；①会員入退会について；下村専務理事から説明があり、異議なく承認、②総会における報告者について；下村専務理事から、第58回総会における事業報告等の報告者を決定されたい旨の提案があり、次のとおり決定。

事業報告 半谷理事
 決算報告 小山内理事または金子理事
 監査報告 柳瀬監事

◎昭和47年度第1回理事会および新旧理事・監事事務引継懇談会開催について；原案どおり決定。

◎昭和46年度臨時評議員会議事録

(47.1.19) 出席者：(東北)角田、山家、(関東)青山、梅木、大野、川浦、川上、成島、久田、八十島、吉海、渡辺、(中部)小野、杉山、(関西)後藤、調、多田、西村、三瀬、室田、(中国四国)今井の各評議員、別に委任状50通、計71名、理事会：高野会長、石川、奥村の各副会長、下村専務理事、小山内理事。記事：1) 会長挨拶；大要、次の挨拶があった；本日の議事は、特別会員の会費の改訂である。正会員および学生会員の会費については、昭和46年度から改訂したが、現在の土木学会の財政事情は特別会員の会費も改訂せざるを得ない状況にあるので、やむを得ず昭和47年度から改訂することとしたので、よろしくご審議願いたい。2) 議長選任；議場に諮った結果、会長一任となり、会長の指名により八十島評議員を選任。3) 議事録署名者の決定：八十島議長、山家、川上の各評議員。議事：特別会員の会費の改訂について；下村専務理事から、資料により、学会の現在の財政事情、将来のみとおし等からして特別会員の会費を改訂したい旨の説明があり、次いで種々論議された結果、今後も特別会員の種別の格上げおよび新規入会に努力するものであれば、やむを得ないとして、次のように昭和47年度から実施することとし

て、原案どおり承認。

特級	250000円以上
1級A	150000円
1級B	90000円
1級C	50000円
1級D	25000円
2級(学校および図書館)	10000円

◎昭和46年度第1回定例評議員会議事録(47.3.30)出席者：(北海道)岸、

末村、(東北)岡本、(関東)林、藤田、八十島、柳田、吉海、吉村(中部)小野、本多、(関西)長尾、西村、水野、室田、米沢、(中国四国)久保田、以上17名の各評議員、別に委任状42通、合計69名；理事会：高野会長、石川副会長、下村専務理事。記事：1) 会長挨拶；高野会長から、大要、次の挨拶があった；本日のおもな議事は、昭和47年度の実業計画案および予算案である。よろしくご審議願いたい。2) 議長選任；岸評議員から八十島評議員を選出したい旨の提案があり、議場に諮ったところ異議なく、八十島評議員を議長に選任。3) 議事録署名者の決定：八十島議長、藤田、吉村の各評議員。議事：1) 昭和47年度事業計画案について；事務局員が資料を朗読した後、種々論議された結果、異議なく原案どおり可決。2) 昭和47年度予算案について；下村専務理事が総括説明を行ない、次いで事務局員が詳細説明を行なった後、種々論議された結果、異議なく原案どおり可決。なお、主な意見として、大要次のようなものがあった；①昨年度年の第1回定例評議員会でも出した意見であるが、税理士では、経理全般について目を通してもらうためには不十分であるから、公認会計士を委嘱することを考えてはどうか。②欧文論文集についての取上げ方がもの足りない。③調査研究費をさらに増額するよう望む。その財源としては、会誌、支部交付金、管理費等の一般会員の会費の行方をたどってみても、会員へのサービスが十分に行なわれていると考えられるので、会費を10%位値上げしてよいのではないかと。また支部交付金のうち、関東支部は余裕があるのではないかと。これを前限して調査研究費に廻してはどうか。

以上に対して、下村専務理事から、今後十分に検討を加え、次年度の予算編成に対処したいとの答弁があった。3) 昭和46年度2回定例評議員会の開催日を決定。

◎昭和46年度第2回定例評議員会議事録(47.5.18)出席者：(東北)松本、(関東)大平、後藤、林、針ヶ谷、柳沢、(中部)小野、三浦、吉田、(関西)飯

塚、後藤、多田、長尾、水野、以上14名の各評議員、別に委任状 53 通、合計67名、理事会：高野会長、下村専務理事。記事：1) 会長挨拶：高野会長から、大要、次の挨拶があった；本日の主な議事は、第58回総会提出議案である昭和46年度の事業報告、同決算報告および名誉会員の推挙、ならびに基金の繰入れ、昭和47年度役員関係および土木学会規則の改正である。よろしくご審議願いたい。2) 評議員会成立報告：下村専務理事から、本日の出席者は委任状を含めて67名であり、現評議員99名の半数をこえており、したがって第2回定例評議員会は成立した旨の報告があった。3) 議長選任：高野会長から議場に諮った結果、会長一任となり、よって三浦評議員を指名したところ異議なく；三浦評議員を議長に選任。3) 議事録署名者の決定：三浦議長、林、柳沢の両評議員。議事：1) 総会提出議案について；①昭和46年度事業報告：事務局員から資料により概略説明があり、異議なく原案どおり承認。②昭和46年度決算報告：下村専務理事から、この決算報告は去る5月12日に監事の監査を受けたものである旨の報告があり、次いで事務局員が資料により説明を行なった後、種々論議された結果、異議なく原案どおり承認。③名誉会員の推挙：下村専務理事から資料により説明があり、異議なく原案どおり承認。

報告 評議員会の決議事項

表彰 土木学会賞および吉田研究奨励金の授与

以上2件について、異議なく承認。

なお、表彰については、総会において配付する資料には順序の配列を理事会資料の通りとすること。2) 基金の繰入れについて：事務局員から資料により説明があった後、原案どおり可決。3) 昭和47年度役員について：昭和47年4月28日(金)第11回理事会において開票された評議員による昭和47年度役員の投票結果について、資料のとおり了承。4) 土木学会規則の改正について：下村専務理事から、去る5月15日に復帰した沖縄県の所属支部を明確にするための改正である旨の説明があった後、異議なく原案どおり可決。

◎各種委員会

(1) 水資源問題懇談会(47.4.11)出席者：関係者9名。議事：水に関する法律・行政をめぐる諸問題。

(2) 鋼構造委員会(47.4.13)出席者：友永委員長、ほか18名。議事：小

委員会の設置と今後の運営。

(3) 青函トンネル土工研究委員会第3回委員会(47.4.13)出席者：岡本委員長、ほか28名。議事：1) 破砕帯における試験坑の計画。2) 昭和46年度報告書について。

(4) 下水汚泥の処分方法に関する研究小委員会海洋還元分科会(47.4.15)出席者：寺島委員長、新田主査、ほか6名。議事：1) 下水汚泥の海洋還元に関する調査。2) 消化汚泥中の重金類の魚への蓄積。3) 汚泥の成分。

(5) 衛生工学委員会(47.4.15)出席者：左合委員長、ほか17名。議事：1) 委員会運営規定。2) 事業計画。3) 小委員会報告。4) 全国大会研究討論会。

(6) 視聴覚教育委員会第4小委員会(47.4.15)出席者：佐藤主査、ほか3名。議事：スライド製作につき打合せを行なった。

(7) 環境問題小委員会(47.4.15)出席者：松本委員長、ほか10名。1) 各分科会報告。2) 小型シンポジウムの件。

(8) 土工学ハンドブック編集幹事会(第4回)(47.4.18)出席者：山本委員長代理、千秋幹事長、ほか10名。議事：1) 全体目次(案)について。2) 各編目次細目および他編との重複項目について。3) その他。

(9) 構造工学委員会(47.4.18)出席者：平井委員長、ほか15名。議事：1) 関連委員会報告。2) 小委員会新設の件。3) IABSEの件。4) 構造工学総合研究所計画の件。

(10) 夏期講習会講師打合せ(47.4.18)出席者：関係者15名。議事：夏期講習会の実施につき打合せた。

(11) 原子力土木委員会耐震部会(47.4.19)出席者：岡本部長、ほか12名。議事：1) 鹿島地点地震観測結果について補足修正。2) 重複反射計算方法修正に伴う資料の件。3) モダンスペクトラルアナリシスによる計算結果の評価。4) 今後の動的応答計算の進め方。5) 断層と立地の関係、今後のまとめ方、方針。6) 取水管路アンケート取りまとめ方針について。

(12) 終局強度設計小委員会(47.4.19)出席者：河野副委員長、ほか12名。議事：1) 前回議事録の確認。2) CEB-FIPのPZとRZとを検討。3) 配布資料の説明。

(13) 論文集編集委員会第1小委員会(47.4.19)出席者：伊藤主査、ほか9名。議事：1) 前回小委員会報告。2) 査読報告。3) 新規受付原稿。4) 主査幹事

会報告。5) 欧文論文集の査読について。6) 委員の交代の件。7) その他...

(14) 耐震工学委員会第8回常任委員会(研究会)(47.4.20)出席者：久保副委員長、ほか17名。議事：1) 研究会の今後の研究テーマについて。2) 第12回地震工学研究発表会開催について。3) IABSEについて。4) 研究会：沈埋トンネルの耐震設計用スペクトル/運輸省青木義典氏。

(15) 本州四国連絡橋耐風研究小委員会実験橋作業分科会打合せ(47.4.20)出席者：関係者10名。議事：耐風実験橋について。

(16) コンクリート委員会打合せ(47.4.20)出席者：国分委員長、ほか4名。議事：コンクリート標準示方書の改訂につき打合せた。

(17) 論文集編集委員会第5小委員会(47.4.20)出席者：関係者7名。議事：1) 前回小委員会報告。2) 査読報告。3) 新規受付原稿。4) 主査幹事会報告。5) 欧文論文集の査読について。6) 委員の交代の件。7) その他。

(18) 下水汚泥の処分方法に関する研究小委員会脱水分科会(47.4.21)出席者：左合委員長、ほか16名。議事：1) 報告書のとりまとめ。2) 昭和47年度調査計画。

(19) 論文集編集委員会第3小委員会(47.4.21)出席者：久野主査、ほか5名。議事：1) 前回小委員会報告。2) 査読報告。3) 新規受付原稿。4) 主査幹事会報告。5) 欧文論文集の査読について。6) 委員の交代の件。7) その他。

(20) 論文集編集委員会第4小委員会(47.4.21)出席者：新谷主査、ほか5名。議事：1) 前回小委員会報告。2) 査読報告。3) 新規受付原稿。4) 主査幹事会報告。5) 欧文論文集の査読について。6) 委員の交代の件。7) その他。

(21) 沈埋トンネル耐震設計研究委員会(47.4.21~22)出席者：岡本委員長、ほか11名。議事：洞海湾沈埋トンネル施工現場および主要土木施設の視察。

(22) 岩盤力学委員会第1分科会地質調査班幹事会(47.4.21~22)出席者：広瀬主査、ほか7名。議事：地質調査に関する解説書の原稿の検討ととりまとめ。

(23) 高校土木教育研究委員会(47.4.22)出席者：山之内委員長、三宅副委員長、小谷幹事長、ほか12名。議事：1) 経過報告。2) 委員会会報の発行について。3) 昭和47年度夏期講習会について。4) 施設設備基準(案)について。5) 昭和47年度委員会構成について。